



「今日は大切な人に、ちゃんと想いを伝えましたか？」

と過ごす時間、故人を想う時間に。線香花火はご家庭でも楽しんでいただけるよう事前に配布、19時30分、全国で一斉に点灯した。



平成30年7月豪雨災害から3年。7月7日、線香花火ナイト。吉田町伊達広場一帯に並べたろうそくに灯りをともし、線香花火を囲んだ。新型コロナウイルスにより開催が危ぶまれたが、感染対策のもとオンラインで全国各地の様子をスクリーンに投影、約50人の参加者がそれぞれの想いを胸に大切な人

「大切な人に、ちゃんと想いを伝えていきますか？」

キヤリンズ新聞

8月号



子ども耕作放棄地再生



耕作放棄地となっていた畑で小学性が芋植え体験。草刈り、耕し、マルチ張りなどご協力頂いた地域の皆さん「災害土砂も入り、草が生え荒れていくのを目の前にするのが辛かった。見違えるようになった。子供たちの元気な声も聞けて、本当にうれしい。」



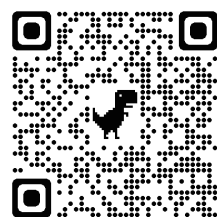
代を生き抜きましょう。

6月6日と20日の二部構成で、「オンラインZoomの使い方講座」を開催。初級編ではインストールからはじめ、まずはセミナー参加の方法まで。カメラ、マイクのオンオフなど基本的な操作を勉強。中級編は、ミーティングの開催方法、画面共有、チャット、挙手のやり方など。コロナ禍でいきなり必要にせまられた「Zoom」。私たちも数々の失敗を重ねてきた。一緒にウィズコロナの時代を生き抜きましょう。

今さらですが、Zoomって!?



②セミナー参加編



①インストール編

機能を一つにしようって、見なれたリモコン型にしてみました。印刷→四つ折りしてお使いください。



オリジナルテキスト「はじめてのZoomリモコン(印刷用)」

休眠預金事業はじまる

宇和島NPOセンターに強力な新スタッフ入所
休眠預金事業担当では新スタッフが入所。「皆さんの心に少しでも寄り添うことができるように頑張ります。たくさんお話して行きましょう(林)」

防災ゲームをしていく中、今日みたいな大雨が降ったらどうするか、何が使えるか、より実践的なイメージができた。お母さんも一緒に参加し、子どもの成長に驚いたり、小さな参観日に。

当日は急遽大雨が降り、警報が発令。そのまま帰宅させるのも危険と判断し、避難所機能を持たせ、小さなお子さんなどの遊ぶ場に。最悪の場合でも今の人数分、何か食べるものはあるか、天候がどの程度落ち着いたら参加者が帰宅することができると、など話し合い、連携をした。

事業の一つとして7月18日、うわじまグラマ主催「がき&あば商店」の一角に「防災カードゲーム」コーナーを設置。



休眠預金を活用した事業にはこのマークがついています。

休眠預金事業とは
10年以上取引のない預金を休眠預金といい、社会課題の解決等に活用する制度が2019年度より始まった。当センターも採択され、令和5年3月末まで地域の居場所づくりや、ボランティア事業など、宇和島市の課題を解決していくよう計画。

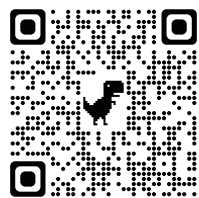
海清掃

うわかいまるまる海そうじ



前回の牛鬼会議の議題に上がった「海ゴミ問題」。さっそく宇和島の海掃除をメインに活動されているNPO団体「Clean the coast (クリーンザコースト)」さんらと共に海掃除を開催。

イベント名は「ブルーサンタ2021 うわかいまるまる海そうじ」青いサンタになって、海にキレイをプレゼント「ブルーサンタ」イベントは、全国の海岸で期間中一斉に実施。宇和島では、吉田(白浦)地区、小池地区、九島地区の3地点で同日開催。サンタの衣装を身にまとっているのはClean the coastの皆さん。前日の大雨で急遽延期になったにもかかわらず、合計100名以上が参加。サンタさん指導のもと、ゴミ袋で140袋以上、その他大型ゴミなど大量のゴミを回収することができた。



宇和島
活動報告

全国の
ブルーサンタ
活動



オンライン セミナー

コロナ禍の被災地で見た防災力

全国各地で災害支援をしている「災害NGO結(ゆい)」代表の前原土武さんによる講演会。当日も静岡県の災害現場よりオンラインでお話を頂いた。40名を超える視聴者で、コロナ禍における活動方法への関心の高さが伺えた。「同じ災害はない」「被災地はメディアで報道されている地域だけではない」「何よりも地域の方のニーズが大切」ずっと支援し続けるのではなく、自立できるよう住民の方へしっかりと引継ぎ、自分たちの引き際も常に考えて活動する。視聴者からの地域のリーダー育成の仕方についての質問へは、「外を見る」という事、自分たちの身の回りだけではない、外から自分たちの地域を見て、良いところも悪いところも、客観的に判断し「学び続ける」事、と仰っていた。



茶話会

新聞紙エコバッグ作り教室

毎月第3木曜日に宇和島NPOセンター内で開催している「茶話会」。6月は今話題の新聞紙でエコバッグ作り。持ち手は筒状に丸めて頑丈に。カラフルな広告を前面にもつけてきたりと、新聞とは思えないオシャレな仕上がり。レジ袋を使わず、野菜の保存などにも適しており一石二鳥。



第2クール 第1回

BOSAーゼミなうる

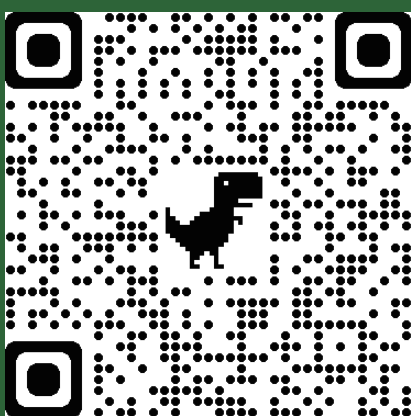
7月26日「BOSAーゼミなうる」がついに第2クール突入！全国5校の高校生たちをオンラインで繋ぎ、大学教授、高校教諭らとディスカッション。Zoomのブレイクアウトルーム機能を使い、学生のみで討論、発表をもらった。先生らの不安を払拭するまめぶりで、改めて学生のパワーに感服。

<発行元・お問い合わせ先>

特定非営利活動法人
宇和島NPOセンター
〒799-3703
愛媛県宇和島市吉田町東小路甲 71-1
0895-49-3563
info@uwajima-npo-center.jp

賛助会員募集中

助成金情報
愛媛ボランティアネット



ご登録はこちら

非常時だけでなく、好きなことで日常のサロン等にもご参加頂いたり、そこでボランティアや趣味の仲間が増えたりします。



ボランティアバンク
はじめました。